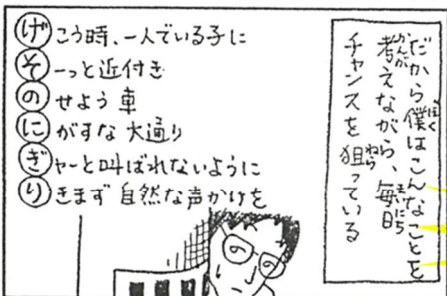
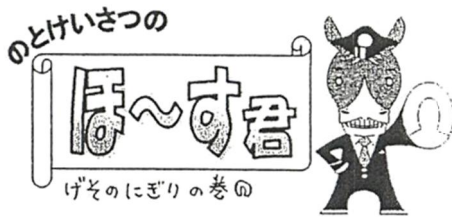




子どもたちを犯罪から 守りましょう！



※ほ〜す君：能登警察署の広報キャラクター

なつやすみ こども防犯教室開催!!

8月25日白山市松任児童館において、警察官と大学生ボランティア、お笑い芸人「ぶんぶんボウル」（白山市出身）による、『なつやすみ こども防犯教室』を開催しました。



【こども防犯教室で指導している、被害に遭わないためのキーワード】



- 知らない人についていかない!
知らない所に連れて行かれ、家に帰れなくなる可能性があります
- 知らない人の車にのらない!
車に乗ってしまうと、車外に逃げ出すことが困難になります
- おおごえを出す!
周りの人に気づいてもらえるように、大きな声で助けを求めます
- すぐにげる!
怖い思いをしたり、何か変だなと思ったら、すぐにその場から逃げます
- おとなにしらせる!
怖い思いをしたら、必ずおうちの人や学校の先生、児童館の先生など周りの大人の人に知らせます

※万一の時、落ち着いて行動がとれるように、子供たちにわかりやすい言葉で繰り返し教えることが大切です!

《要注意! こんな声掛け例》

- お菓子やゲームなどを買ってあげる、またはゲームなどを一緒にしようと誘って連れ去ろうとする
(例)「お菓子をあげるから一緒に来ない?」
(例)「おもしろいゲームがあるから、一緒に来てゲームしない?」
- 道案内を頼み、車に乗せて連れ去ろうとする
(例)「△△まで行きたいんだけど、一緒に車に乗って案内してくれない?」
- 困っている人を、または自分が困っているので、手助けしてほしいと頼み連れ去ろうとする
(例)「向こうにケガをして歩けなくなっている人がいるから、ちょっと一緒に来て。」
(例)「車の中に物を落としてよく見えない。車に乗って一緒に探してくれない?」
- 家族が交通事故やケガをしたので、病院や現場まで連れて行ってあげると言って、車に乗るようせかして連れ去ろうとする
(例)「君のお父さんが交通事故に遭った。病院へ連れて行ってあげるから、すぐ車に乗って。」
- モデルなどをやらないかと誘って連れ去ろうとする
(例)「モデルやらないか?写真撮らせて。」